

# 多々見市長の「匠」探訪記④

## 「舞鶴のアルギット葡萄」生産者 梅原治喜さん



▲お互いの経験談で話が盛り上がる



前ページからの続き

### 失敗は成功への糧

**市長** 最近の教育というのは、教科書やプログラムがあって、何でもマニュアルどおりにやっているとすればうまくいくということに慣れているのですよ。だから、新しいことには戸惑うのです。失敗しても、1から体験しながら学ぶことがないものですから。経験するということはすごく大事なことだと思います。

**梅原さん** 失敗は何回してもよいが同じ失敗は繰り返すなと言っています。失敗なしに成功はない。私はずっと失敗ばかりでしたが（笑）。自分で判断して、どこでどう間違ったのか、病気でも何でもいかに早くそれに気がつくかが大事なのです。疑問に思ったら聞きに来いと。こっちから先に言ってしまったら、何ひとつ考えなく自分で覚えようとしなくなりません。そして若い者はデータを残しておかなくてはだめだと言っています。今までは全部勘でやってきました。今、土壌分析を試験所ですらしてもらって、すべてをデータ化しようとしています。今の子はそういうのに強いんですね。私なんか科学的なことはからっきしですけど（笑）。

ほかに大切なことは、（植物の）「顔」ですね。野菜の成長点です。葉のつやとか、のびやかにのびているかとか、成長がとまったら黒いくすんだ色になるし、若竹色と言うのですけど、そういう状態であるかどうか、水が足らなければ必ず黒くなるし、それを毎朝行つて観察する。これが重要です。

### これからの夢

**市長** アルギット葡萄がおいしいと言われていますが、もっともっと知っていただくために、何かしようとしていることはありますか？

**梅原さん** 一番いいのは、舞鶴の魚とかかまぼことかの「とびっきり」を売る場所を開設できないかと思っています。そういう形で売り出していくとまた違った宣伝効果が出てくると思います。ここに来たら、いつでも買える。その期間中はいつでもありますよ。やはり、地元のもものは地元で守りPRしていかなければ、舞鶴の農家はやっていけないのではないかと思います。

**市長** これからは販売ルートも考えていかななくてはなりませんね。

**梅原さん** そういうシステムができて初めて農業は成り立っていきます。われわれ生産者の生産意欲も増すと思います。時代の流れには逆らえません。いかに先を讀むかが大事です。

**市長** 梅原さんは何でも前向きに努力される方ですが、これから先、やりたいことはありますか？

**梅原さん** まず、後継者を育てることですね。それが第一です。1人だったら何が起ころかわからないので。2人は育てていきたい。そうすれば自分の役目は終わ



ブドウの木の下で記念撮影

**市長** 新たな分野というのは考えておられますか？

**梅原さん** 今までやってきたことで精いっぱいですが、できたらここにしかない新しい品種を作ってみたいと思います。それができるのは千に一つですけど。

**市長** そういう働きはもうされていますか？

**梅原さん** いやいや、それをさせてほしいので早くやめさせてくれと言っているのです。早く楽をさせてくれよって（笑）。

**市長** これからも、ぜひ、お元気で頑張っていたいだきたいと思えます。

**梅原さん** いつまでやれるかわかりませんが（笑）

**市長** やれるまで（笑）。区切らずに。